

2024年3月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社 旅工房
(証券コード6548)
2023年8月10日



次に行く旅は、きっと一生忘れない。

2024年3月期 第1四半期 決算概要

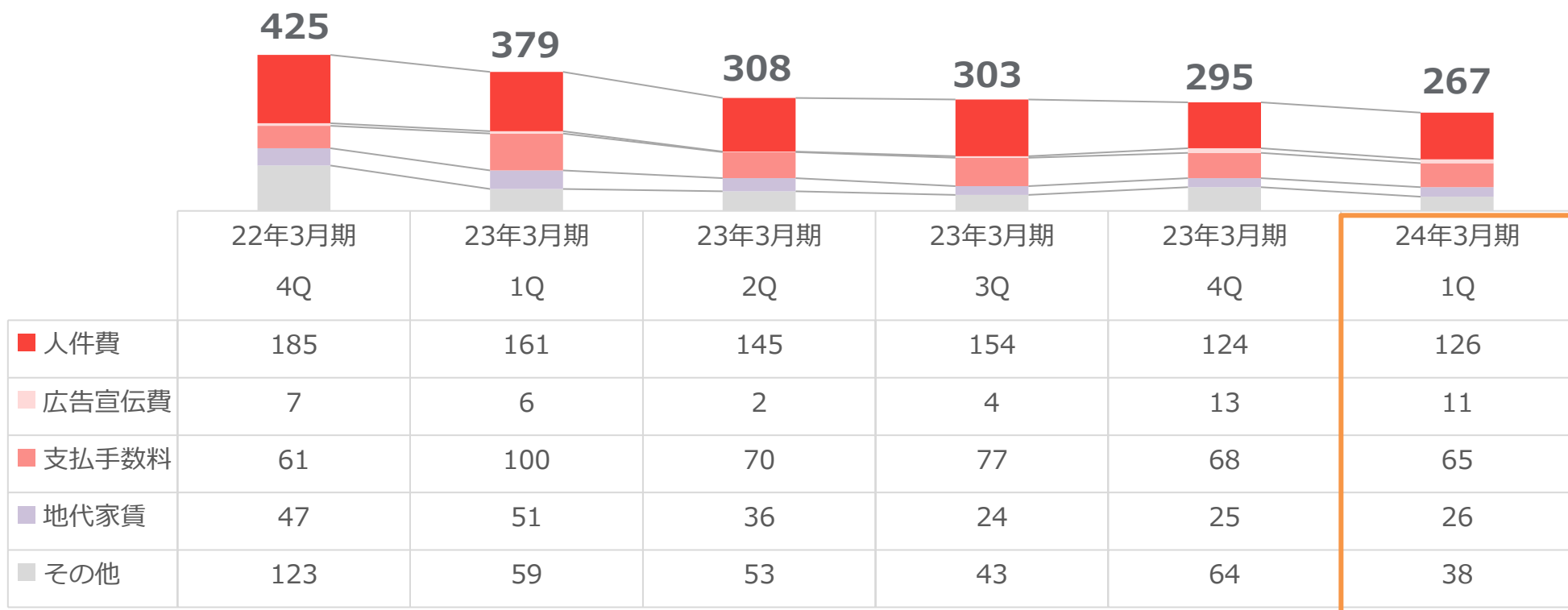


海外旅行市場は回復傾向にあり、当社の損益も着実に改善

単位： 百万円	21/3期 4Q	22/3期 1Q	22/3期 2Q	22/3期 3Q	22/3期 4Q	23/3期 1Q	23/3期 2Q	23/3期 3Q	23/3期 4Q	24/3期 1Q	23/3期4Q 比較増減	23/3期1Q 比較増減	22/3期1Q 比較減額
売上高	171	132	252	355	296	193	268	250	550	519	△30	+326	+387
売上総利益	2	38	36	62	74	46	90	118	144	140	△3	+93	+102
販管費	509	467	381	394	425	379	308	303	295	267	△28	△112	△199
営業利益	△506	△429	△345	△332	△350	△333	△217	△185	△151	△ 127	+24	+205	+301
経常利益	△337	△387	△295	△308	△347	△306	△218	△191	△162	△ 126	+35	+180	+261

引き続き販管費の抑制は意識しつつ 海外旅行市場の回復の需要取込のために 今後は新規採用を積極的に進める

単位：百万円



純損失99百万円、新株予約権による資金調達418百万円等で 自己資本は324百万円増加、30億円の第三者割当を決議

単位：百万円	23年3月期 4Q末	24年3月期 1Q末	増減
総資産	1,846	2,410	+563
自己資本	△1,093	△768	+324
自己資本比率	△59.2%	△31.9%	+27.3%
有利子負債	2,299	2,299	—
現金及び預金	827	1,250	+422
運転資本*	156	101	△55
敷金・保証金・預け金等	313	262	△50

* 運転資本 = 流動資産（除く現金及び預金） - 流動負債（除く短期借入金）

2024年3月期 通期業績予想



海外旅行市場は回復傾向にありますが、情勢は日ごとに変化しており、現時点での合理的な業績予想の算定ができないため、

2024年3月期の業績予想は未定とさせていただきます。

今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

今後の事業方針



海外旅行市場の回復を捉えるために経費削減は維持しつつ採用を再開

事業環境の予測

海外旅行市場は回復傾向にあり、コロナ前の水準に向かって着実に回復していくと予測

海外旅行市場の回復を捉えるための施策

回復を見込む海外旅行市場の需要を確実に捉えるために新規採用を再開し、広告宣伝費の投下も拡大させていく

第三者割当による資本調達

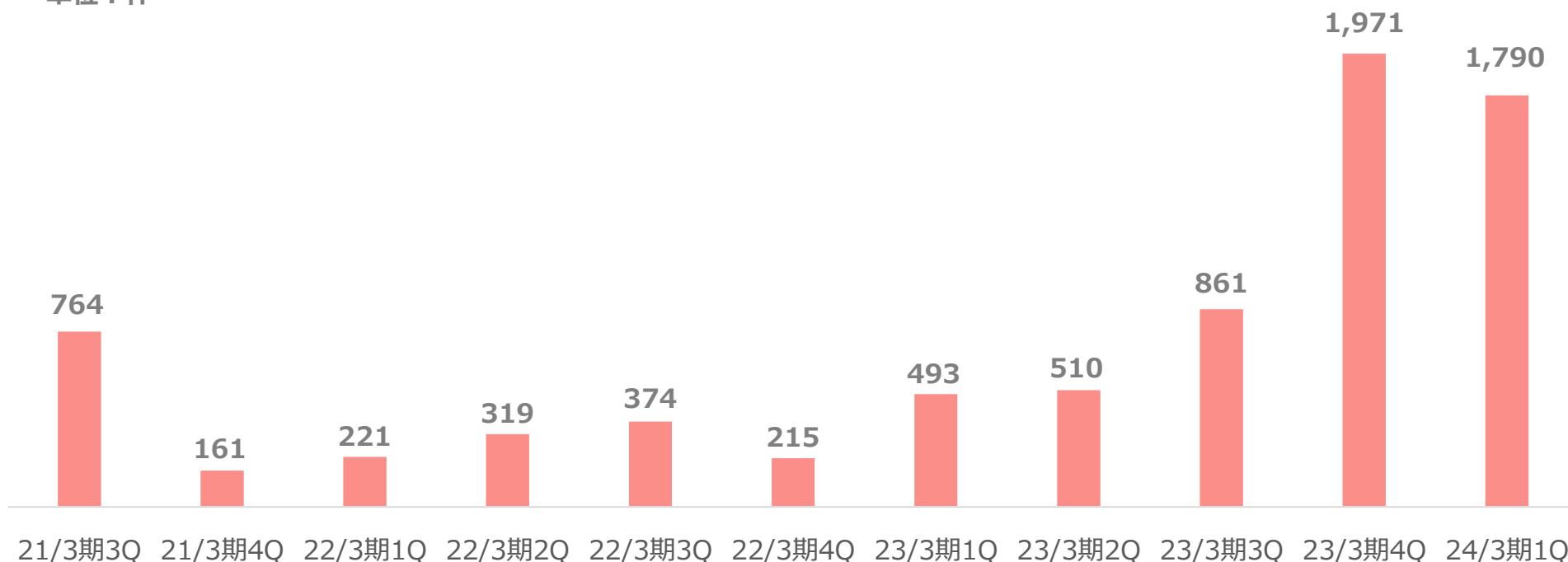
2023年10月31日を払込期日、割当先を(株)アドベンチャー（証券コード6030）とした30億円の資本調達を決議*

*次ページ及び本日公表の「第三者割当による新株式の発行並びに親会社及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」をご確認ください。

①	払込期日	2023年10月31日
②	発行新株式数	普通株式10,000,000株
③	発行価額	1株につき300円
④	発行価額の総額	3,000,000,000円
⑤	資本組入額	1株につき150円
⑥	資本組入額の総額	1,500,000,000円
⑦	募集又は割当方法 (割当予定先)	第三者割当の方法によります。 株式会社アドベンチャー 10,000,000株
⑧	資金使途	①財務基盤強化のための借入金返済資金 ②事業規模の回復・拡大に向けた人材採用資金 ③事業規模の回復・拡大に向けた広告宣伝資金
⑨	その他	上記各号については、金融商品取引法に基づく届出の効力発生、並びに2023年10月26日開催予定の当社臨時株主総会における本第三者割当及び当社の発行可能株式総数の変更（現状の14,000,000株を35,000,000株に変更）を目的とする定款の一部変更の議案が承認されることを条件とします。

海外旅行需要が緩やかに回復、23/3期3Qより広告投下も開始 更なる伸長のためには予約人員の採用*2が必須

単位：件



*1 受付件数と最終成約件数（売上に直接つながる数値）の間には成約するか否かやキャンセルなどで差異が出ます。

また、当社は旅行の帰着日で売上計上をしているため、受付と売上計上時期には乖離があります。

*2 24/3期1Q末の人員数は、正社員71名、そのうち13名がコンシェルジュ（予約）人員となっております。

免責事項

- この資料は投資家の皆様の参考に資するため、株式会社旅工房（以下、「当社」という。）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、作成日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 当資料に掲載されている内容は、資料作成時における当社の判断であり、作成にあたり当社は細心の注意を払っておりますが、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではなく、内容についていかなる表明・保証を行うものでもありません。

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。